

兵庫県英語教育改善プラン

1. 実施内容

(1) 研修体制の概要

別紙参照

(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

(1) 高等学校における現状と課題

平成 27 年度の「求められる英語力を有する英語教員及び生徒の割合」は、平成 26 年度と比較すると減少しており、文部科学省目標に近づいていない。また、CAN-DO リストの普及率は平成 26 年度からは改善が見られたが、作成中の学校もあり、100%となっていない。これらの状況を踏まえ、引き続き、次の 3 点（①生徒の意欲を高める授業づくり、② 4 技能を総合的に育成する取組、③教員の英語力・指導力の向上）について重点的に取り組み、更なる英語教育の推進を目指す。

【H27 年度主な目標達成状況】

指 標	H26 (実績)	H27 (目標)	H27 (実績)	指 標	H26 (実績)	H27 (目標)	H27 (実績)
英検準 2 級以上 生徒の割合	42.6%	43.0%	42.0%	英検準 1 級以上 教員の割合	60.4%	65.0%	57.4%
生徒の言語活動 授業の半分以上	78.4%	85.0%	84.0%	教員の英語発話 授業の半分以上	84.2%	90.0%	83.8%

※調査対象となる授業は「コミュニケーション英語 I」

【H28 年度改善方策及び目標】

重点取組項目	改善方策	目標となる指標
① 生徒の意欲を高める授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT (132 人) を全校配置 ・チーム・ティーチングによる授業の充実 ・英語以外の授業での活用の推進 ・海外の高校との共同研究の実施 ○学習到達目標を生かした授業 ・兵庫版基本 CAN-DO リストの活用 ・各校毎の CAN-DO リスト作成・公表 ○グローバル・リーダー育成事業の実施 ・国内で 5 泊 7 日の英語合宿 ・高校生 50 人、ALT30 人 ・TOEFL 等による英語力把握等 ○国際交流事業 ・姉妹州省との相互交流の実施 ○各種コンテストの実施 ・スピーチ、エッセイ、ディベートコンテストの実施 (高英研と連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ○求められる英語力を有する生徒 (H27 42.0% → H28 47.0%) ○生徒の英語による言語活動時間 (H27 84.0% → H28 90.0%) ○パフォーマンステストの実施 (1 科目平均) ・スピーキング (H27 0.5 回→H28 1 回) ・ライティング (H27 0.4 回→H28 1 回) ○イングリッシュ・キャンプの実施 (H27 23 校 → H28 28 校) ○海外の高校との協働学習の実施 (H27 16 校 → H28 20 校) ○ディベートの実施 (H27 10 校 → H28 20 校) ○CAN-DO リストを作成している学校 (H27 19.0% → H28 100%)
② 4 技能を総合的に育成する取組		
③ 教員の英語力、指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○国及び県が実施する推進リーダー研修によるリーダー養成 ○推進リーダーによる地域での研修会等の実施 (※H27 から 3 年間で全県立高等学校英語教員受講) ○海外研修の実施 ○ALT 研修及び ALT を活用した英語漬け研修等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の英語力の向上 (H27 57.4% → H28 70.0%) ○教員の英語使用率の向上 (H27 83.8% → H28 95.0%) ○研修回数 (H27 27 回) 研修受講者 (H27 1,436 人)

【課題】

① 生徒の英語力の向上について

平成 26 年度とほぼ同じ数値となっており、文部科学省の示す目標値に近づいていない。目標値を達成するためには、4 技能を総合的に育成する取組の強化が必要である。そのためには、①各校で今年度末を目途に作成される CAN-DO リストを活用した指導法についての研修を実施するとともに、②スピーキングテスト・ライティングテスト、ディベートの実施率を高めるため、その具体的な実施方法についての研修の充実を図るなど、指導と評価の一体化にさらに取り組む必要がある。

② 教員の英語力、指導力の向上について

英検準 1 級を取得している教員の割合が下がっているため、検定割引制度の周知を更に図るとともに、資格取得について強く推奨していく必要がある。

教員の英語使用率は平成 26 年度と比較して同程度であり、目標値には達していない。そのため、今後も研修や学校訪問指導を通じて、教員の英語使用率を高める取組が必要である。

(2) 中学校における現状と課題

平成 2 7 年度の目標管理を以下の指標で行っている。【 () 内は H26 と H27 の数値】

- ・求められる英語の力を有する教師の割合 (H26 29.0% H27 28.3%)
- ・求められる英語力を有する生徒の割合 (H26 30.6% H27 33.8%)
- ・「CAN-DO リスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況 (設定・公表及び達成状況の把握等の状況)
 - ①設定状況 (H26 15.5% H27 19.8%)
 - ②公 表 (H26 14.6% H27 7.7%)
 - ③達成状況 (H26 58.5% H27 61.5%)
- ・授業における生徒の英語による言語活動時間の占める割合
 - 1 年生
 - ①授業の 75%程度以上～ (H26 11.1% H27 20.3%)
 - ② 50%程度以上～ (H26 44.8% H27 42.7%)
 - ③ 25%程度以上～ (H26 40.5% H27 33.5%)
 - ④ 25%程度未満 (H26 3.6% H27 3.5%)
 - 2 年生
 - ①授業の 75%程度以上～ (H26 7.6% H27 18.5%)
 - ② 50%程度以上～ (H26 39.0% H27 44.8%)
 - ③ 25%程度以上～ (H26 47.7% H27 33.9%)
 - ④ 25%程度未満 (H26 5.6% H27 2.8%)
 - 3 年生
 - ①授業の 75%程度以上～ (H26 7.0% H27 18.7%)
 - ② 50%程度以上～ (H26 36.7% H27 37.6%)
 - ③ 25%程度以上～ (H26 44.3% H27 37.8%)
 - ④ 25%程度未満 (H26 12.0% H27 5.9%)
- ・パフォーマンステストの実施状況
 - ① 1 年生 (H26 85.2% H27 82.1%)
 - ② 2 年生 (H26 82.2% H27 85.5%)
 - ③ 3 年生 (H26 78.4% H27 79.0%)

兵庫教育大学と連携し研修テーマの設定を行った「4 技能を総合的に育成するための指導と評価」、「英語教育の現状と課題」等の内容の研修会の実施から「授業における生徒の英語による言語活動時間の占める割合」及び「求められる英語力を有する生徒の割合」の向上

という成果が見られた。

教員の英語力向上については、授業を英語で行う等、教員の英語使用率を高めるよう指導するとともに、外部検定割引制度の活用等について周知を図っていく。

(3) 小学校における平成27年度の現状と課題

中学校と同様に兵庫教育大学と連携し、研修テーマの設定を行った。「小中合同研修」、「TTを活用した授業実践」、「ICTを活用した授業実践」等の研修会を実施し、教員の指導力向上を図った。今後も専門機関との連携を図り、教員の英語力及び指導力の向上につなげるとともに、研修内容の充実・精選等にも努め、教科化に向けてのさらなる対応を進めていく。

(3) 研修の体系と内容の具体

1 実施研修（平成26年度～平成29年度）別紙「平成28年度日程表」参照

(1) 兵庫教育大学と連携した「大学と連携した英語指導力向上事業」

① 趣 旨

今後の兵庫の英語教育を担う指導力を習得させるため、実習・演習や事例研究等を通して、各地域でのリーダーとしての識見と能力の向上を図る。

また、小中及び中高の円滑な接続を図るための小中・中高それぞれの合同研修を取り入れるなど、工夫し実施する。

② 対象者

100名

- ・ 1期 県立高等学校教員 20名
- ・ 2期 市町組合立小学校教員 40名（県内40市町各1名）
- ・ 3期 市町組合立中学校教員 40名（県内40市町各1名）

③ 期 日

- ・ 校種別単独研修 年間 各4日
- ・ 小・中合同及び中・高合同研修 年間 各1日

④ 主な研修内容

- ・ 1期 4技能の学習到達目標に基づいた指導と評価等
- ・ 2期 ALTとのT・Tの効果的な指導方法や中学校英語の円滑な接続のための運動の在り方等
- ・ 3期 4技能をバランスよく指導し、コミュニケーション能力の育成や生徒がつまづきやすい文法事項や内容等の指導方法改善等

⑤ 研修の評価方法

- ・ 兵庫教育大学と県教育委員会が研修効果等について検証し、評価する。
- ・ JACET教育問題研究会発行 成長のための省察ツール「言語教師のポートフォリオ」の活用。兵庫教育大学と研修成果を分析。

【主な特徴】

英語教師に求められる授業力を明示する
 授業力とそれを支える基礎知識・技術の振り返りを促す
 同僚や指導者との話し合いと協働を促進する
 自らの授業の自己評価力を高める
 成長を記録する手段を提供する

(2) 兵庫教育大学と連携した研修協力校における公開授業及び研究協議会等の実施

① 趣 旨

兵庫教育大学と連携した英語指導力向上研修に参加した研修協力校の教員を中心に、各協力校が連携している外部専門機関から指導・助言を受けながら、近隣の小・中・高等学

校教員を対象に公開授業や研究協議会を実施することにより、県内全域に研修成果の普及を図る。

② 対象者

研修協力校（8校）のある各地域の小・中・高等学校外国語及び英語担当教員
1校 1回あたり 20名程度

③ 実施回数

25回程度（1校 年間3回程度）

④ 主な実施内容

- ・公開授業、研究授業
- ・指導方法の研修会
- ・指導法改善による効果の検証等

⑤ 研修の評価方法

研修協力校等が実施する研究協議会等の参加人数、各校が連携している外部専門機関の有識者による評価、外部検定試験による効果等を検証し、評価する。

（3）中央研修終了者による研修会の実施

① 趣旨

最新の英語指導法を修得した教員が、トレーナーとして、各地で中核教員の研修や授業改善の指導・助言を行い、研修成果の普及を図る。

② 対象者

- ・中央研修終了者の勤務校のある各地域の小・中外国語及び英語担当教員
（※H27～H31の5カ年計画で実施予定。）
- ・県立高等学校 英語教員約400名（※H27～H29の3年間で全県立高校英語教員が受講）

③ 実施回数

1人 年間 14時間程度。

④ 主な実施内容（小学校の例）

教室英語、絵本の活用、単語や表現の学習、ALTとの打ち合わせ、歌の活用、アルファベットの音、授業指導案の作成、他教科と関連した内容を取り入れた活動等

⑤ 研修の評価方法

研修会への参加人数、各校への普及状況等により評価する。

（4）外国語指導助手を対象とした研修の実施

① 趣旨

小・中・高等学校等において語学指導等に従事する外国語指導助手（ALT）に対し、一層効果的な語学指導ができるよう必要な知識・指導技術等を習得させるとともに、外国語教育に係る諸問題について研究協議を行い、もって外国語教育の充実に資する。

② 対象者

- ・「兵庫オリエンテーション」 新規来日 ALT
- ・「外国語指導助手の指導力等向上研修」 ALT 約200名
日本人英語教員 約200名

③ 実施回数

- ・「兵庫オリエンテーション」 2泊3日
- ・「外国語指導助手の指導力等向上研修」 2日間

④ 主な実施内容

- ・効果的なティーム・ティーチングの在り方と実践について
- ・小学校・中学校・高等学校等における外国語教育をめぐる諸問題について

⑤ 研修の評価方法

研修会への参加人数、参加者へのアンケート評価等により評価する。

2 各研修の評価

(1) 研修会等への参加人数

上記(1)～(3)の各研修受講者の目標数を設定する。

- ① 兵庫教育大学と連携した「小・中・高等学校英語教育推進リーダー研修」
 小学校外国語活動担当教員 40名
 中学校英語担当教員 40名
 高等学校英語教員 20名
- ② 外部専門機関と連携した研修協力校における研修会、研究協議会等
 研修協力校(県立高校8校)が実施する公開授業、域内研修会等に参加した教員数
 (1校 1回)20名程度×8校×3回 = 480名
- ③ 中央研修終了者による研修会の実施
 (高等学校)
 中央研修受講者による地区研修(7地区)の実施(H28年夏季休業中)
 1地区 約60名×7地区 = 約400名
 ※H27～H29の3年間で全県立高等学校英語教員が受講
 (小・中学校)
 各市町において、域内研修会を実施(1回以上)

(2) 研修参加者へのアンケートの実施

上記(1)、の研修受講者に研修前と研修後の「英語授業実施状況等」に関するアンケートを実施し、研修受講による授業改善の効果を検証する。

(アンケート調査項目例)

- ① 生徒の英語による言語活動時間の割合
- ② 教員の英語使用状況
- ③ パフォーマンステストの実施
- ④ ICTを活用した授業の実施
- ⑤ ワークシート等を活用した授業の実施 等

(3) 研修協力校における授業改善の状況と生徒の英語力の把握及び検証

国が実施する「英語教育実施状況調査」を活用し、研修協力校(県立高校8校)における英語授業の改善状況を、他校比較等を通して検証するとともに、在籍生徒に対しては外部検定試験等を実施し、生徒の英語力を検証する。

(4) 英語力評価テストの実施

上記(1)の研修受講者に対して、研修初日と研修最終日に、「JACET教育問題研究会発行成長のための省察ツール「言語教師のポートフォリオ」を実施し、研修前と研修後の研修受講教員の英語力の向上について検証する。

(4) 年間事業計画

月	推進リーダー研修		高等学校による研修協力校	
	都道府県等の取組	外部専門機関等	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	研修内容検討	第1回運営指導委員会		
5月	受講者決定			
6月	兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第1回小・中・高）	兵庫教育大学	・兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第1回）	兵庫教育大学 研修協力校と外部専門機関による研究協議会
7月		兵庫教育大学		
8月	兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第2・3回、小・中）	兵庫教育大学	・英語教員指導力向上研修（地区別） ・英語科授業力錬成講座（1日） ・英語カブラッシュアップ講座（1泊2日） ・新規来日ALT対象研修会（2泊3日） ・兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第3回）	兵庫教育大学
9月				研修協力校と外部専門機関による研究協議会
10月	兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第4回・小学校）	兵庫教育大学	・英語科授業づくり充実講座 ・兵庫県高校生エッセイコンテスト	研修協力校と外部専門機関による研究協議会
11月	兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第4回・中学校）		・兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第4回） ・外国語指導助手の指導力等向上研修（2日） ・兵庫県高校生スピーチコンテスト	兵庫教育大学 研修協力校と外部専門機関による研究協議会
12月				

1月	兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第5回 中学校 公開授業及び研究協議、域内への普及研修について）	兵庫教育大学	兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第5回 公開授業及び研究協議、研修内容の普及について）	兵庫教育大学 研修協力校と外部専門機関による研究協議会
2月	兵庫教育大学と連携した英語力指導力向上研修（第5回 小学校 公開授業及び研究協議、域内への普及研修について）	第2回運営指導委員会	兵庫県高校生ディベートコンテスト	研修協力校と外部専門機関による研究協議会
3月	運営指導委員会			
【その他の取組】				

外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

英語教員の指導力向上を図るため、各地域で英語教育を推進するリーダーを育成

兵庫県教育委員会

委託契約

兵庫教育大学との連携

リーダーとなる教員対象①
(小・中・高 100人)

- 実施日数
 - I期 高校 (5日)
 - II期 中学校 (5日)
 - III期 小学校 (5日)

中・高合同1日
小・中合同1日
- 研修内容
理論、演習、事例研究 等

研修協力校 8校指定
神戸大、神戸外大、関西学院大、関西大等と連携

国との連携 (中央研修)

リーダーとなる教員対象②
(小・中・高 17人)

- 実施日数
 - I期 高校 10日
 - II期 中学校 10日
 - III期 小学校 10日
- 研修内容
理論、演習、実習 等

英語教育推進リーダーによる地域単位での研修成果の普及

研修協力校 (兵教大研修にも参加)
・公開授業、研究協議会の実施 (各校年間3回程度)
・外部検定試験による効果検証

兵教大研修参加教員 (100人)
・校内研修の実施
・公開授業の実施
・事例発表等の実施

各地域内研修実習の実施 (17人)
トレーナー1人につき 14時間
小・中は6地区、高は7地区で実施
※3年間で全英語担当教員受講

県内の小学校・中学校・高等学校の外国語活動担当者、英語担当教員が参加
(※県内の小・中・高のALT約200名については「外国語指導助手等指導力向上研修」を実施)

県内全域で小・中・高等学校を通じた英語教育の推進

